



1949年創業という歴史を持ち、小豆島においてトップクラスのシェアを誇り四国でも有数の税理士法人である岡會計。「ワンストップサービス」という言葉が注目されるはるか前から、企業のあるあらゆる課題に対応して島内の産業を支えてきた岡氏が、総合事務所としての想いを語ります。

INTERVIEW



税理士法人岡會計
代表

岡 英一氏

中小企業のあるあらゆる問題に
ワンストップで対応する

創業者である父が事務所を設立したのは1949年（昭和24年）。税理士試験が開始されたのが1951年（昭和26年）のことです。税理士という資格が始まったのと同じくらいの歴史があります。現在は小豆島に2拠点を構え、約50名近い職員が勤務。地域密着で地元の企業をサポートしています。

創業当時から父が目指していたのは、さまざまな資格を取得した人材が集まり、顧問先のあるあらゆる問題にワンストップで対応できる事務所を作ること。実際にそれが動き出したのは、私が入所した36年前。当時私は、公認会計

士の資格を持っていました。そのころはまだ、業界内で「ワンストップサービス」という言葉は広がっていませんでしたが、私たちはキーワードとして使っていました。「信頼に応える総合事務所」という経営理念にも、その想いが込められています。

現在私は不動産鑑定士、システム監査技術者、行政書士、ITコーディネーター、医業経営コンサルタントの資格も持っていますし、職員には公認会計士が2名、他にも司法書士、社会保険労務士、土地家屋調査士、情報処理技術者など、士業からIT関連まで、さまざまな資格者がいます。そのため、税務会計に限らず、資金繰りの支援や中期経営計画策定の支援、事業承継や事業再編など、中小企業

のお客様のニーズにはほぼ対応できます。

また、相続に関しても、不動産を相続登記する際には土地家屋調査士が関わってきますが、社内資格者がいるため自社内で完結することができ、相続に向けて生命保険の提案などもしています。顧問先との窓口になっている職員が困りごとを聞き、その情報をもとに他の職員と連携して、互いにアドバイスし合いながらお客様をサポートしています。

このように、中小企業が抱える問題をさまざまな専門家の視点から検討できる点が、「信頼に込める総合事務所」としての、うちの最大の強み。税務、法務、不動産、ITなど複合的な視点で見ること最適な提案ができるのです。

システムの資格を活かし
デジタル化を推進

お客様は95%が地元・小豆島の中小企業です。個人事業主から年商100億円の企業まで規模はさまざま。業種も、小売、卸、製造、建設、土木、医療、社会福祉法人など多種多様です。このあたりも、総合事務所ならではの特徴かもしれません。

私をはじめ、システム関係の資格者が複数いることもあり、総合事務所として近年力を入れていることが、顧問先のデジタル化支援です。具体的にはA I O C R（手書きや画像の文字データを読み込んでテキストデータに変換する技術）を使って、預金通帳や請求書、領収書等から自動で会計デ

ータを作成していくサービスなどです。

今、顧問先である中小企業は人手不足が課題になっています。それは私たちも同じ。顧問先が困っているからといって、職員をどんどん増やしてマンパワーをサポートすることはできません。

ですから、作業を自動化することで手助けをしたいと思います。国がDXを推進していますから、同じ方向を向いて取り組んでいきたいと思います。私たちが積極的に働きかけています。

幅広い業務に対応しながら
さまざまなスキルを習得

職員の教育制度は、経理業務未経験者を前提にしています。入社から3カ月は税務会計の基礎知識

先ほどお話ししたように、基本的な税務会計以外にも、資金繰りの支援から事業承継や事業再編のコンサルティング、相続対策に至るまでお客様のあらゆるニーズに応えています。日々の業務を通して自然とさまざまな知識やスキルを身につけることができる環境があります。

成果を出せば報酬に反映
長く勤められる環境

福利厚生については、社会保険など基本的なことはもちろん、退職金共済制度として厚生年金基金と確定給付企業年金を導入しています。また、賞与は年間で2カ月分に加えて、実績に応じてプラス



で加算されます。目標ラインを超えた分は賞与として還元される仕組みなので、成果を出せば報酬に反映されていきます。

これは土地柄もあるのかもしれませんが、退職者がほとんどいないことも当事務所の特徴です。やむを得ない事情がない限り勤め続ける職員が多いですし、定年制度はあるものの、希望すればその年

総合事務所として
これまで以上のサポートを

私たちが目指すのは、顧問先に対して成長のための提案やアドバイスができる会計事務所。今は中小企業が非常に厳しい状況に置かれていますから、これまで以上にアドバイスを求められていると実感しています。

この先、帳簿作成などの業務は自動化が進んでいきます。そうすると、私たちに求められるのは税務判断や経営に対するアドバイス。これができるかどうか、われわれの業界の生きる道だと思っています。その中で総合事務所として顧問先のあるあらゆる課題に対応することはやりがいもありますし、いろいろなスキルを身につけることができます。



岡 英一（おか えいいち）
父が1949年に創業した事務所に入所。1994年に代表に就任。公認会計士、税理士、不動産鑑定士、行政書士、システム監査技術者、ITコーディネーター、医業経営コンサルタントとさまざまな資格を持ち、長年にわたり地元企業のあるあらゆるニーズに応えている。



←ホームページへの
アクセスはこちら

事務所概要	
税理士法人岡會計	
本社所在地	香川県小豆郡土庄町甲737-4
拠点数	2
創業	1949年
従業員数	45名
平均年齢	49歳

線で物事を考えることが必要です。私自身、仕事を始めた当初は知識や経験が足りずに苦労しましたが、そこは先輩たちも含めてサポートします。

専門家としてスキルアップしていくためには、ある程度の積極性も必要です。顧問先からのさまざまなニーズに応えるためには、自分自身も幅広い視点を持つことが大切。とはいえ、私たちの仕事は内向的な人にも向いている仕事です。当事務所は多様な業務がありますから、心配せずに入社してください。

簿記や会計の知識や経験がある人はもちろん、未経験者でもさまざまな専門家が講師となって教育ができます。もしも退職することになったとしても、一生使えるスキルが身につくはずですよ。